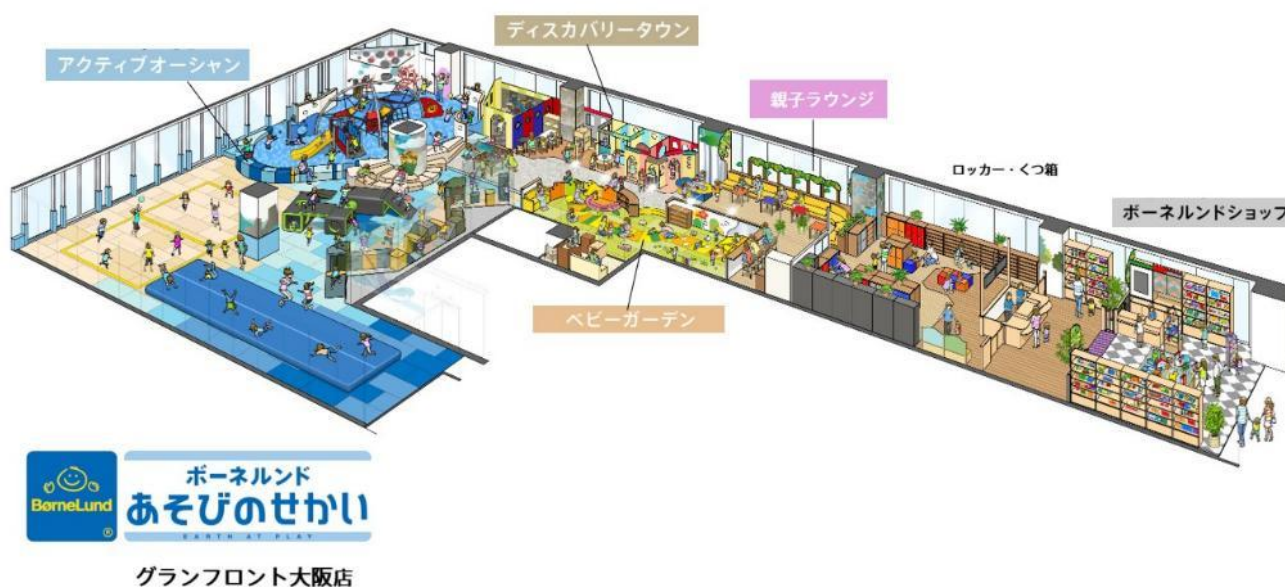


子どもも親も過ごしやすい“心地よい居場所”へ進化した西日本の旗艦店 「ボーンエルンドあそびのせかい グランフロント大阪店」が 2026年4月24日（金）リニューアルオープン

子どもの健やかな成長にあそびを通して貢献することを目的に、教育玩具・遊具の輸入・開発・販売とあそび場づくりを行う株式会社ボーンエルンド（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：中西みのり）は、大阪市北区の大型複合施設「グランフロント大阪 ナレッジキャピタル」にて、親子のあそび場とショップを併設した「ボーンエルンドあそびのせかい グランフロント大阪店」を、2026年4月24日（金）にリニューアルオープンします。

今回のリニューアルでは、大阪・関西万博で注目を集めた大型遊具を導入するほか、親子の新しい居場所として、心地よく過ごせる「親子ラウンジ」を新設します。大阪の中心地である梅田で、西日本の旗艦店として、親子がそれぞれのペースで過ごしながらか新しい発見や交流が生まれる場を目指します。



あそびのせかい グランフロント大阪店：子どもから大人まで、より「心地よい居場所」へと進化

「ボーンエルンドあそびのせかい グランフロント大阪店」は 2013 年の開業以来、西日本の旗艦店として多くの親子にあそびを提供してきました。開業から約 13 年が経過し、遊具や施設の刷新とともに、子どもや家庭を取り巻く社会環境の変化を踏まえ、“子どものあそび場”から、“親子の心地よい居場所”へと進化します。

今回のリニューアルでは、「子どもとゆっくり過ごせる場所がない」「小学生の放課後の居場所がない」といった声に応えるため、親子の新しい居場所として「親子ラウンジ」を新設。さらに、大人同士の関係性を育み、チームビルディングを促進する新プログラム「おとなのキドキド」も始動します。

また本施設は、近隣のグラングリーン大阪内にある次世代型探究学習施設「Bornelund PLAY CUBE」との連携を通じ、あそびを起点に教育・地域・商業が交わるとともに、子育て支援の視点からも新たな価値創出を目指します。

・特設サイト：https://kidokid.bornelund.co.jp/campaign/grandfront-osaka-renewal_2602

<リニューアルの注目ポイント>

① 大阪・関西万博で活躍した大型遊具「ネットドーム」が登場

大阪・関西万博のあそび場で使用された「ネットドーム」をボールプール内に設置。施設の新しいシンボルとなります。再生材を使用したパネル構造で、登る・滑る・くぐるなどの多様な動きを促し、大人数で楽しめる遊具です。



※写真：大阪・関西万博内 光の広場に設置されていた「ネットドーム」。その他の遊具は、ホテルオークラ神戸の「キッズエリア」に設置されています。<https://www.kobe.hotelokura.co.jp/kidsplayarea/>

② 挑戦心を刺激するアスレチックエリアへ進化

高低差のある立体的なアスレチックコースが新登場。スピード感をもって駆け抜ける中で、からだのバランス感覚や左右の手足をうまく連動させる力を養います。ボールプールには、対戦型でボールを投げて遊べる仕掛けを導入。ルールのあるあそびや競技性を取り入れることで、学齢期の子どもの挑戦意欲を引き出します。



③ 「親子ラウンジ」を新設し、心地よく過ごせる居場所に

入口付近に、ゆったりとしたソファを備えた「親子ラウンジ」を新設。子どものあそびを見守りながらリラックスしたり、適度な距離感で自分の時間を過ごしたりと、親子それぞれにとっての心地よさを実現します。Wi-Fiも完備しており、子どもを近くで遊ばせながら、親がPCで仕事をするといった使い方もできます。



④ 大人向けコンテンツ始動。西日本の「あそび発信拠点」へ

グラングリーン大阪にある次世代型探究学習施設「BørneLund PLAY CUBE」と連携し、関西エリアのあそび文化を発信。企業・教育機関との連携施策や、大人向けのワークショップ・セミナーなども定期的を実施し、都市型あそび場の新しい価値を発信する拠点を目指します。



リニューアルの背景：スクリーン時代だからこそ求められる「リアルな体験」と「親子の時間」

近年、スマートフォンやタブレットの普及により、子どもがスクリーンに触れる時間は年々増加しています。利便性が高まる一方で、「つい見せすぎてしまう」「やめるタイミングが難しい」といった保護者の悩みも広がっています。

また都市部では、安心してからだを動かして遊べる場所の不足や、猛暑・天候不順などによる外遊び機会の減少も課題となっており、子どもが思いきり遊べる“リアルな体験の場”の価値が改めて見直されています。こうした社会背景を受け、ボーネルンドは、スクリーンとリアルな体験の健やかなバランスを提案する存在として、あそび環境のアップデートを進めてきました。

子どもがからだを動かし、手を使い、五感を通して夢中になる体験は、“こころ・頭・からだ”の発達に欠かせないものです。

今回のリニューアルでは、親子がスクリーンから少し離れ、共に夢中になれる時間を取り戻す場として、あそび環境を再設計。さらに、子どもだけでなく親にとっても居心地のよい空間を整えることで、現代の子育て環境に寄り添う新しい都市型あそび環境を提案します。

「ボーネルンドあそびのせかい グランフロント大阪店」概要

- リニューアル日：2026年4月24日（金）
- 正式名称：ボーネルンドあそびのせかい グランフロント大阪店
- 所在地：〒530-0011 大阪府大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪 北館 ナレッジキャピタル 3階
- 営業時間：10:00～19:00（最終入場18:30）
- 定休日：グランフロント大阪に準ずる
- 対象年齢：6か月～12歳（保護者同伴）
- 入場料：【時間制】子ども 最初の30分：平日800円、休日1000円 延長10分ごと：200円
【1DAYパス】子ども 平日2,600円（2人目以降1,300円）休日3,400円（2人目以降1,700円）
【時間制・1DAYパス 共通】大人700円（延長料なし）
※ボーネルンドショップは入場料なしでご来店いただけます
※金額はすべて税込み金額です
- 公式サイト：<https://kidokid.bornelund.co.jp/grandfront-osaka/>

「ボーネルンドあそびのせかい」とは

「ボーネルンドあそびのせかい」は、子どもの“こころ・頭・からだ”の発育をサポートする有料室内あそび場「キドキド」と、世界の優れたあそび道具を提案するショップを併設した、あそびと子育てを支える複合施設です。

本施設は、誰にとっても居心地のよい子育てコミュニティを目指し、年齢や特性、国籍を問わず、すべての子どもが夢中になれるインクルーシブなあそび環境を目指しています。多様なあそびの中で“やってみたい”が広がり、一人ひとりが自分の「好き」に出会い、安心・安全に挑戦できる場です。また、あそびのプロ「プレイリーダー」が常駐し、子どもの好奇心に寄り添いながら、あそびをさらに発展させています。



「キドキド」サイト：<https://kidokid.bornelund.co.jp/>

【ボーネルンドについて】

ボーネルンドは、あそびを通して子どもの健やかな成長に寄与するため1981年に設立し、一貫して“あそびの道具と環境”を提供する事業を展開。一般家庭へ向け、子どもの成長に必要な生活道具としての“あそび道具”を提案し、全国46ヶ所で直営店舗を展開しています。同時に幼稚園や保育園、公園などにおいて、高品質な大型遊具や教育道具の提供を含めたあそび環境の開発を行い、現在までに手掛けた実績は国内約3万5千ヶ所に拡大しています。また、2004年からは親子で多様なあそびを体験できる屋内あそび場「キドキド」事業を開始し、「プレイヴィル」「PLAYLOT」を含む直営施設は全国21ヶ所、年間170万人以上の親子に利用されています。さらに自治体と連携したあそび場開発も全国70ヶ所以上に広がり、地域活性化にも寄与しています。

近年では、2024年に大阪・梅田に次世代型探究学習施設「PLAY CUBE」を開講しフリースクール事業を展開。さらに、あらゆる場所にプレイリーダーがあそび体験を届ける「移動式あそび場」も本格展開しています。あそびを通じて社会課題の解決に取り組むコンサルティング機能も強化し、子どもから大人までのウェルビーイング向上への貢献を目指しています。

【報道関係の方のお問い合わせ先】

株式会社ボーネルンド 広報部
担当：西山、岸辺
TEL：03-5785-0860、080-9868-7091
e-mail public-relations@bornelund.co.jp

【一般の方のお問い合わせ先（ご掲載用）】

株式会社ボーネルンド
TEL:0120-358-518（月～金 10:00～17:00）